



## かんじ か しゅん 漢字はどうして書き順があるの

### なが ねんげつ あだ う だ 長い年月の間に生み出されたもの

かんじ か しゅんばん ひつじゅん か しゅん  
漢字やかなを書く順番は、筆順とか書き順とかいわれています。しかし、これは、その  
かんじ き  
漢字ができたころから、決まっていたものではありません。

かんじ か なが ねんげつ あだ か しゅうかん がくしゃ せんもん  
漢字が書かれるようになって、長い年月の間に、書くことを習慣としてきた学者や専門  
か けいけん ちえ う だ  
家たちが、その経験と知恵から生み出したものなのです。

もじ はや ただ ととの もじ か ばあい じゅんじょ か  
ひとつの文字を、速く、正しく、整った文字に書きこなす場合、どんな順序で書けばい  
けんきゅう ひつじゅん  
いのがが研究され、こんにちの筆順のもととなっているのです。

ひつじゅん か かた  
この筆順にそった書き方をしないと、あやまりだとか、いけない文字だとかということ  
か けっか もじ ただ か じゅんじょ  
はありません。書いた結果の文字が正しければ、書く順序など、どうでもよいのではない  
ひと  
か、という人もいます。

### ただ ひつじゅん はんたん 正しい筆順のものは、判断しやすい

ながねん あだ けんきゅう か しゅん しょうしゃ じゅんじょ し ぜん  
しかし、長年の間で研究された書き順が、書写のうえではたいせつで、この順序が自然  
はや ととの もじ か ひつよう ただ ひつじゅん  
であり、速く整った文字を書くうえで必要なことはいうまでもありません。正しい筆順で  
か もじ がたち もじ はんたん  
書かれた文字は、形がくずれたものであっても、どんな文字かが判断しやすいのです。

きょういく めん あた かんじ なら せいと ひつじゅん もじ か  
そこで、教育の面からも、新しい漢字を習うとき、生徒には筆順どおりの文字を書くた  
しどう おな  
めの指導が行われているのです。(監修・保岡 孝之)

